

科目名	弘法大師伝	学期	前期	単位数	2	担当者	櫻木 潤
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>到達目標：弘法大師空海の足跡をたどりながら、日本の歴史上におけるご生涯の意義を考える。</p> <p>テーマ：弘法大師空海の生涯とその時代</p>							
<p>授業の概要</p> <p>高野山を開創し、真言密教を大成した弘法大師空海のご生涯を、時代背景をふまえながらたどります。弘法大師の足跡から、本学で学ぶことの意義と、将来への指針を見いだすことを目指します。</p>							
<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業ガイダンス 2 弘法大師空海のイメージ 3 奈良・平安時代の社会と仏教 4 誕生と青年時代 5 「沙門空海」の誕生 6 山林修行と『聾瞽指帰』の撰述 7 不空三蔵と恵果阿闍梨 8 中国への留学 9 韜黙の日々 10 伝教大師最澄との交流 11 高野山の開創 12 天皇・太上天皇との交流 13 満濃池と綜藝種智院 14 真言宗の成立 15 空海以後の密教と「弘法大師信仰」の成立 16 期末試験 							
<p>テキスト</p> <p>テキストは使用せず、毎回の授業で配布するプリントをもとに進めます。</p>							
<p>参考書・参考資料等</p> <p>高木伸元『空海 生涯とその周辺』（歴史文化セレクション、吉川弘文館、2009年）。</p> <p>高木伸元・岡村圭真編『密教の聖者 空海』（日本の名僧4、吉川弘文館、2003年）。</p> <p>武内孝善『弘法大師空海の研究』（吉川弘文館、2006年）。</p> <p>武内孝善『空海伝の研究 後半生の軌跡と思想』（吉川弘文館、2015年）。</p> <p>その他、毎回の授業において適宜紹介します。</p>							
<p>学生に対する評価</p> <p>期末試験（60％）・毎回の授業中に行う課題（40％）によって評価する。</p>							
<p>ルーブリック（目標に準拠した評価）</p> <p>（可）弘法大師空海のご生涯について理解する。</p> <p>（良）弘法大師空海のご生涯が日本仏教の歴史の中でどのような歴史的意義があるのかを説明できる。</p> <p>（優）弘法大師空海のご生涯から、本学で学ぶことの意義と将来への指針を見いだすことができる。</p>							
<p>その他</p> <p>授業では、日本各地の弘法大師ゆかりの地を紹介します。積極的にその地を訪ね、弘法大師のご生涯について、さらに理解を深めることを望みます。希望があれば、高野山内などの見学会を行います。</p>							